

◆ 薬価基準収載医薬品 (2024.11.20) – 報告品目・新キット製品 –

【10成分10品目】

内用薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考																												
11/20	たん白アミノ酸製剤	イノソリッド配合経腸用半固形剤	10g	14.40	製造販売元／イーエヌ大塚製薬販売提携／大塚製薬販売提携／大塚製薬工場	経腸栄養	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。	通常、成人標準量として1日900～1,500g (900～1,500kcal) を胃瘻より胃内に1日数回に分けて投与する。投与時間は100g当たり2～4分 (300g当たり6～12分) とし、1回の最大投与量は600gとする。 また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。 なお、年齢、体重、症状及び栄養状態により投与量、投与時間を適宜増減する。	本剤は、1.0kcal/g の半固形経腸栄養剤。																												
11/20	ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤	ジャカピ内用液小児用0.5%	0.5% 1mL	12,209.00	製造販売 (輸入) / ノバルティスファーマ	ルキソリチニブリン酸塩	○造血幹細胞移植後の移植片対宿主病 (ステロイド剤の投与で効果不十分な場合)	通常、6歳以上12歳未満の小児にはルキソリチニブとして1回5mgを1日2回、12時間毎を目安に経口投与する。患者の状態により適宜減量する。 通常、6歳未満の小児にはルキソリチニブとして1回4mg/m <sup>2</sup> を1日2回、12時間毎を目安に経口投与する。患者の状態により適宜減量する。	既存の剤形(5mg錠、10mg錠)に新剤形追加。																												
11/20	抗悪性腫瘍剤 BRAF阻害剤	タフィンラー小児用分散錠10mg	10mg 1錠	1,225.90	製造販売 (輸入) / ノバルティスファーマ	ダブラフェニブメシル酸塩	〈小児用分散錠〉 ○標準的な治療が困難なBRAF遺伝子変異を有する進行・再発の固形腫瘍 (結腸・直腸癌を除く) ○BRAF 遺伝子変異を有する低悪性度神経膠腫	小児用分散錠 〈固形腫瘍、低悪性度神経膠腫〉 トラメチニブとの併用において、通常、小児にはダブラフェニブとして体重に合わせて次の用量を1日2回、用時、水に分散して空腹時に経口投与する。	既存の剤形(50mgカプセル、75mgカプセル)に新剤形追加。																												
							<table border="1"> <tr> <td>体重</td> <td>8kg 以上 10kg 未満</td> <td>10kg 以上 14kg 未満</td> <td>14kg 以上 18kg 未満</td> <td>18kg 以上 22kg 未満</td> <td>22kg 以上 26kg 未満</td> <td>26kg 以上 30kg 未満</td> </tr> <tr> <td>1回投与量</td> <td>20mg</td> <td>30mg</td> <td>40mg</td> <td>50mg</td> <td>60mg</td> <td>70mg</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>体重</td> <td>30kg 以上 34kg 未満</td> <td>34kg 以上 38kg 未満</td> <td>38kg 以上 42kg 未満</td> <td>42kg 以上 46kg 未満</td> <td>46kg 以上 51kg 未満</td> <td>51kg以上</td> </tr> <tr> <td>1回投与量</td> <td>80mg</td> <td>90mg</td> <td>100mg</td> <td>110mg</td> <td>130mg</td> <td>150mg</td> </tr> </table>	体重	8kg 以上 10kg 未満	10kg 以上 14kg 未満	14kg 以上 18kg 未満	18kg 以上 22kg 未満	22kg 以上 26kg 未満	26kg 以上 30kg 未満	1回投与量	20mg	30mg	40mg	50mg	60mg	70mg	体重	30kg 以上 34kg 未満	34kg 以上 38kg 未満	38kg 以上 42kg 未満	42kg 以上 46kg 未満	46kg 以上 51kg 未満	51kg以上	1回投与量	80mg	90mg	100mg	110mg	130mg	150mg		
体重	8kg 以上 10kg 未満	10kg 以上 14kg 未満	14kg 以上 18kg 未満	18kg 以上 22kg 未満	22kg 以上 26kg 未満	26kg 以上 30kg 未満																															
1回投与量	20mg	30mg	40mg	50mg	60mg	70mg																															
体重	30kg 以上 34kg 未満	34kg 以上 38kg 未満	38kg 以上 42kg 未満	42kg 以上 46kg 未満	46kg 以上 51kg 未満	51kg以上																															
1回投与量	80mg	90mg	100mg	110mg	130mg	150mg																															
11/20	抗悪性腫瘍剤 (プロテアソーム阻害剤)	ニラーロカプセル 0.5mg	0.5mg 1カプセル	24,023.70	製造販売元／武田薬品工業	イキサゾミブクエン酸エステル	多発性骨髄腫における維持療法	通常、成人には1日1回、本剤を空腹時に週1回、3週間 (1、8及び15日目) 経口投与した後、13日間休薬 (16～28日目) する。この4週間で1サイクルとし、投与を繰り返す。本剤の投与量は、4サイクルまではイキサゾミブとして3mg、5サイクル以降はイキサゾミブとして4mgとする。なお、患者の状態により適宜減量する。	既存の規格(2.3mg、3mg、4mg)に新規規格追加。																												

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考																																
11/20	抗悪性腫瘍剤 MEK阻害剤	メキニスト小児用ド ライシロップ4.7mg	4.7mg 1瓶	99,852.00	製造販売(輸 入)ノバルティス ファーマ	トラメチニブ ジメ チルスルホキシド 付加物	○標準的な治療が困難なBRAF 遺伝子変異を有する進行・再発 の固形腫瘍(結腸・直腸癌を除 く) ○BRAF 遺伝子変異を有する低 悪性度神経膠腫	(固形腫瘍、低悪性度神経膠腫) ダブラフェニブとの併用において、通常、小児にはトラメチニブとして体重に合わせて 次の用量を1日1回、空腹時に経口投与する。  <table border="1"> <tr> <td>体重</td> <td>8kg 以上 9kg 未満</td> <td>9kg 以上 11kg 未満</td> <td>11kg 以上 12kg 未満</td> <td>12kg 以上 14kg 未満</td> <td>14kg 以上 18kg 未満</td> <td>18kg 以上 22kg 未満</td> <td>22kg 以上 26kg 未満</td> </tr> <tr> <td>投与量</td> <td>0.3mg</td> <td>0.35mg</td> <td>0.4mg</td> <td>0.45mg</td> <td>0.55mg</td> <td>0.7mg</td> <td>0.85mg</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>体重</td> <td>26kg 以上 30kg 未満</td> <td>30kg 以上 34kg 未満</td> <td>34kg 以上 38kg 未満</td> <td>38kg 以上 42kg 未満</td> <td>42kg 以上 46kg 未満</td> <td>46kg 以上 51kg 未満</td> <td>51kg 以上</td> </tr> <tr> <td>投与量</td> <td>0.9mg</td> <td>1mg</td> <td>1.15mg</td> <td>1.25mg</td> <td>1.4mg</td> <td>1.6mg</td> <td>2mg</td> </tr> </table>	体重	8kg 以上 9kg 未満	9kg 以上 11kg 未満	11kg 以上 12kg 未満	12kg 以上 14kg 未満	14kg 以上 18kg 未満	18kg 以上 22kg 未満	22kg 以上 26kg 未満	投与量	0.3mg	0.35mg	0.4mg	0.45mg	0.55mg	0.7mg	0.85mg	体重	26kg 以上 30kg 未満	30kg 以上 34kg 未満	34kg 以上 38kg 未満	38kg 以上 42kg 未満	42kg 以上 46kg 未満	46kg 以上 51kg 未満	51kg 以上	投与量	0.9mg	1mg	1.15mg	1.25mg	1.4mg	1.6mg	2mg	既存の剤形(0.5mg錠、 2mg錠)に新剤形追加。
体重	8kg 以上 9kg 未満	9kg 以上 11kg 未満	11kg 以上 12kg 未満	12kg 以上 14kg 未満	14kg 以上 18kg 未満	18kg 以上 22kg 未満	22kg 以上 26kg 未満																																		
投与量	0.3mg	0.35mg	0.4mg	0.45mg	0.55mg	0.7mg	0.85mg																																		
体重	26kg 以上 30kg 未満	30kg 以上 34kg 未満	34kg 以上 38kg 未満	38kg 以上 42kg 未満	42kg 以上 46kg 未満	46kg 以上 51kg 未満	51kg 以上																																		
投与量	0.9mg	1mg	1.15mg	1.25mg	1.4mg	1.6mg	2mg																																		
11/20	深在性真菌 症治療剤	クレセンバカプセル 40mg	40mg 1カプセル	2,007.80	製造販売元/ 旭化成ファーマ 提携先/Basilea Pharmaceutica International Ltd, Allschwil	イサブコナゾニウ ム硫酸塩	下記の真菌症の治療 ○アスペルギルス症(侵襲性アス ペルギルス症、慢性進行性肺アス ペルギルス症、単純性肺アスペル ギローマ) ○ムーコル症 ○クリプトコックス症(肺クリプト コックス症、播種性クリプトコクス 症(クリプトコックス脳髄膜炎を含 む))	通常、成人にはイサブコナゾールとして1回200mgを約8時間おきに6回経口投 与する。6回目投与の12~24時間経過後、イサブコナゾールとして1回200mg を1日1回経口投与する。	既存の規格(100mg)に 新規格追加。																																

## 注射薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/20	慢性腎不全 高カロリー輸液 用アミノ酸・ 糖・電解質・ 総合ビタミン液	キドパレン輸液	1050mL 1キット	2,269	製造販売元/ 大塚製薬工場 販売提携/ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電 解質・ビタミン	経口・経腸管栄養補給が不能又 は不十分で、経中心静脈栄養に 頼らざるを得ない慢性腎不全患 者(高カリウム血症、高リン血症 の患者又はそのおそれのある患者 に限る)に対する水分、電解質、 カロリー、アミノ酸、ビタミン補給	用時に上下2室の隔壁と上室内にある黄褐色の小室を同時に開通し、十分に 混合して使用する。 通常、成人には1050mLの維持量を24時間かけて中心静脈内に持続点滴注 入する。 本剤は、高濃度のブドウ糖含有製剤なので、特に投与開始時には耐糖能、肝 機能等に注意する。低速度(目安として維持量の半量程度)で投与開始し、 徐々に1日当たりの投与量を漸増して維持量とする。 なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。	アミノ酸・糖・電解質・総 合ビタミン液を配合した キット製品。

取載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/20	ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤	スキリージ皮下注180mgオートドーズ	180mg 1.2mL 1キット	259,358	製造販売元／アッヴィ合同	リサンキズマブ（遺伝子組換え）	○中等症から重症の活動期クローン病の維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る） ○中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）	〈クローン病〉 リサンキズマブ（遺伝子組換え）の点滴静注製剤による導入療法終了4週後から、通常、成人にはリサンキズマブ（遺伝子組換え）として360mgを8週間隔で皮下投与する。 リサンキズマブ（遺伝子組換え）の点滴静注製剤による導入療法終了4週後から、通常、成人にはリサンキズマブ（遺伝子組換え）として180mgを8週間隔で皮下投与する。なお、患者の状態に応じて、360mgを8週間隔で投与することができる。	既存の規格(皮下注360mgオートドーズ)に新規格追加。
11/20	ヒト抗ヒトIL-13モノクローナル抗体	アドトラーザ皮下注300mgペン	300mg 2mL 1キット	41,859	製造販売元／レオファーマ	トラロキヌマブ（遺伝子組換え）	既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎	通常、成人にはトラロキヌマブ（遺伝子組換え）として初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。	既存の剤形(皮下注150mgシリンジ)に新剤形追加。
11/20	抗血液凝固第IXa/X因子ヒト化二重特異性モノクローナル抗体血液凝固第VIII因子機能代替製剤	ヘムライブラ皮下注12mg	12mg 0.4mL 1瓶	131,539	製造販売元／中外製薬	エミズマブ（遺伝子組換え）	○先天性血友病A（先天性血液凝固第VIII因子欠乏）患者における出血傾向の抑制 ○後天性血友病A患者における出血傾向の抑制	〈先天性血友病A（先天性血液凝固第VIII因子欠乏）患者における出血傾向の抑制〉 通常、エミズマブ（遺伝子組換え）として1回3mg/kg（体重）を1週間の間隔で4回皮下投与し、その1週間後（初回投与から4週間後）の5回目投与から以下のいずれかの用法・用量で皮下投与する。 ・1回1.5mg/kg（体重）を1週間の間隔 ・1回3mg/kg（体重）を2週間の間隔 ・1回6mg/kg（体重）を4週間の間隔 〈後天性血友病A患者における出血傾向の抑制〉 通常、エミズマブ（遺伝子組換え）として1日目に6mg/kg（体重）、2日目に3mg/kg（体重）を皮下投与し、8日目から1回1.5mg/kg（体重）を1週間の間隔で皮下投与する。	既存の規格(皮下注30mg、60mg、90mg、105mg、150mg)に新規格追加。